実行するだけ

とりあえず、動かしてみたい人のため説明です。 GitHubから、とりあえずまとめてダウンロードに、適当なところに展開してください。 ここでは、C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ に展開した場合の実行を示しています。

現在、\Users\fuji\Desktop\ナンプレ に居て、ファイル構成が以下のようになっているとします。

```
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>tree /F
フォルダー パスの一覧
C:.
  NP.jar
I—data
     17P.txt
     18P.txt
     HeartP.txt
     HeartQ.txt
     Pattern500.txt
     Problem500.txt
L-src
     contributing.md
     Generator.java
     NP.java
     Solution.java
     Solver.java
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar
==== arguments input error =====
java -jar NP.jar -s problem_file
                                     [answer_file]
java -jar NP.jar -g pattern_file [problem_file]
```

データを、GitHubの配置と同じで、dataフォルダに置いた状態になっているとします。

パラメータなしでNP.jarを起動すると、上記のように入力形式を表示します。

パラメータにエラーがある場合も、上記の表示になります。

問題を解く

パラメータ -s は問題を解く(solve)指示です。 -g は問題を生成する(generate)指示です。 -s に引き続いて、問題ファイルを与えると、問題を解きます。

正常な問題を解く

を表示します。

```
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -s data\HeartQ.txt
Heart H 20
- 1 6 - - - 5 9 -
4 - - 3 - 7 - - 2
7 - - - 5 - - - 1
8 - - - - - 9
- 6 - - - - 7 -
- - 5 - - - 6 - -
- - - 2 - 3 - - -
- - - - 7 - - -
2 8 7 5 1 9 4 3 6
3 1 6 4 2 8 5 9 7
4 5 9 3 6 7 1 8 2
7 9 4 8 5 2 3 6 1
8 3 1 7 4 6 2 5 9
5 6 2 9 3 1 8 7 4
9 7 5 1 8 4 6 2 3
6 4 8 2 9 3 7 1 5
1 2 3 6 7 5 9 4 8
Total 1
          Success 1
total time : 759200 nano sec, average : 759 micro sec
最後に
     与えられた問題数
     きちんと解けた問題数
     全体の計算時間 (ナノ秒単位)
     1問あたりの平均計算時間(マイクロ秒)
```

問題と答えの間にある数字(この場合はO)は、解けきれなかったマス数を示します。 きちんと解ければ、Oになります。

正の数になった場合は、解けきれなかったマス(空白ます「-」)の数を示し、多重解の問題になってしまったことが分かります。

解ききれない問題(多重解の問題)を解く

次の例は、正しい問題の数字を一箇所だけ変更したものです。 すると、残りマス数が23になり、最後の成功数が0になっています。

 $\hbox{\tt C:\Users\fuji\Desktop\table} $$C:\Users\fuji\Desktop\table} $$ -jar\ NP.jar\ -s\ data\HeartQ1.txt $$$

Total 1 Success 0

total time : 666900 nano sec, average : 666 micro sec

<u>エラーの場合</u>

さらに、問題の同じマスの値を変更してみます。

```
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>type data\HeartQ2.txt
```

これで実行すると、以下のようになりました。 現バージョンでは、エラーの場合は、問題を表示しません。ちょっと不親切ですね。

C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -s data\HeartQ2.txt Heart H 20

ERROR

Total 1 Success 0

total time : 175200 nano sec, average : 175 micro sec

問題を作る

```
す。
*1つが、試行錯誤(TRY)1回を示します。
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -g data\HeartP.txt
No.1 H 20
_ _ _ _ _ _ _ _ _
- X X - - - X X -
X - - X - X - X
X - - - X - - X
X - - - - X
- X - - - - X -
- - X - - - X - -
- - - X - X - - -
- - - X - - -
***********************
******* TRY 91
_ _ _ _ _ _ _ _ _ _
- 7 5 - - - 9 2 -
6 - - 4 - 9 - - 3
1 - - - 5 - - - 4
3 - - - - - 6
- 4 - - - - 3 -
- - 2 - - - 5 - -
- - - 3 - 1 - - -
- - - - 4 - - - -
total 1 failure 0
total time : 3902 mili sec, average : 3902 mili sec
この例では、91回の再トライで成功しました。
```

最も少ない場合は、*1つで成功し、 TRY 0 と表示されます。

-gオプション付きでパターンファイルを与えると、パターンを表示後、*を次々と表示しま

次の例は、

C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -g data\ImpossibleP.txt No.1 H 17

- - - - - X X

_ _ _ _ _ _ _ _ _

- - X X X - - - -

- - X - - X - - -

- - X - - - X - -

- - - X - X - X -

- - - X - X - -

X - - - X - - -

X - - - - - - -

total 1 failure 1

total time : 15727 mili sec, average : 15727 mili sec

このパターンでは、多数回試してもだめで、あきらめてしまいました。 現在は、400回試してだめだったらあきらめ、FAILUREと表示します。

このパターンは、このプログラムには組み込んでいない手筋を使って解く・作るプログラムでは、以下のような問題を作ることができます。

						5	9
	4	2	6				
	2			5			
	6				4		
		8		3		7	
			3		6		
5				9			
7							

問題を連続して解く

- - 2 - - - 1 -

ナンプレ500問が1つのファイルになっている Problem500.txt の問題を解いてみます。

```
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -s data\Problem500.txt
No.1 H 18
- - - - 8 - - - -
- - - 9 - 7 - - -
4 2 - - - 3 - -
- - 7 - - 9 - - -
- 8 - - - - 3 -
- - - 1 - - 4 - -
- - 2 - - - 8 7
- - - 3 - 4 - - -
- - - - 5 - - - -
7 9 3 4 8 2 1 6 5
5 6 1 9 3 7 8 2 4
4 2 8 5 1 6 3 7 9
1 3 7 8 4 9 6 5 2
9 8 4 2 6 5 7 3 1
2 5 6 1 7 3 4 9 8
3 4 2 6 9 1 5 8 7
8 7 5 3 2 4 9 1 6
6 1 9 7 5 8 2 4 3
No.2 H 18
- 8 - - - 6 - -
- 9 - 1 - - - 3 -
- - - 5 - - - -
- - - - 7 3 - -
- - 1 - - - 8 - -
- - 5 4 - - - -
- - - - 6 - - -
- 3 - - - 8 - 4 -
```

◇ ◇ 中略 ◇ ◇

Total 500 Success 500

total time : 55101600 nano sec, average : 110 micro sec

一気に解いて、1問平均で110マイクロ秒の速度で解きました。

ヒント数が18~24個の問題500問の問題集です。

あまりにも高速に解くので、時間計測が正しくなるように、一気に解きながら解を記憶し (表示しない)、解いたときの経過時間を記憶しています。

解き終えてから、問題と解を示し、最後に経過時間を表示しています。

これは、解く時間に比べて表示の時間が圧倒的に長いための措置です。

問題を連続して作る

問題集の数字を全てXにしたパターンファイルが Pattern500.txt です。

```
C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -g data\Pattern500.txt
No.1 H 18
- - - X - - -
- - - X - X - - -
X X - - - X - -
- - X - - X - - -
- X - - - - X -
- - - X - - X - -
- - X - - - X X
- - - X - X - - -
- - - X - - - -
****** TRY 8
- - - - 7 - - -
- - - 4 - 6 - - -
5 2 - - - 3 - -
- - 4 - - 9 - - -
- 8 - - - - 7 -
- - - 3 - - 5 - -
- - 1 - - - - 4 8
- - - 7 - 3 - - -
- - - - 5 - - - -
No.2 H 18
- X - - - X - -
- X - X - - - X -
- - - X - - - -
- - - - X X - -
- - X - - - X - -
- - X X - - - -
- - - - X - - -
- X - - - X - X -
- - X - - - X -
*****SUCCESS TRY 4
```

◇ ◇ 中略 ◇ ◇

*SUCCESS TRY 0

```
- - - - 4 - 5 -
- - 1 3 - - 7 8 -
- 5 - 8 - - - -
- 6 3 - - - 1 2 -
- - - - 5 - 6 -
- 7 8 - - 6 9 - -
- 4 - 9 - - - -
- - 2 4 - - - -
No.500 H 23
- - X X - - - -
- - X - - X - - -
- - - - X - X X
- X X X - X - - X
_ _ _ _ _ _ _ _ _ _
X - - X - X X X -
X X - X - - - -
- - - X - - - -
- - - - X X - -
*****SUCCESS TRY 4
- - 9 2 - - - -
- - 8 - - 7 - - -
- - - - 9 - 1 4
- 1 2 5 - 4 - - 3
_ _ _ _ _ _ _ _ _ _
9 - - 1 - 3 2 8 -
4 5 - 3 - - - -
- - - 4 - - - -
- - - - 8 7 - -
```

total 500 failure 0

total time : 133233 mili sec, average : 266 mili sec

失敗(failure)は0です。500問の作成を133秒で終えました。 1問あたり266ミリ秒(0.266秒)で作れていますので、かなり高速に作成できています。

問題作成の難易度(失敗のしやすさ)は、パターンによってかなり違います。 ヒント数が少なくなることも、作りにくくします。

このような感じで、問題を作成することができます。

実は、問題ファイルを、そのままパターンファイルとして利用することができます。 同じファイルを、-s で動かすと、指定されたファイルを問題ファイルとして実行します。 -g で動かすと、マスが - になっていない箇所は全てヒントマスの指定と解釈して解きます。

C:\Users\fuji\Desktop\ナンプレ>java -jar NP.jar -g data\HeartQ.txt No.1 H 20

```
_ _ _ _ _ _ _ _ _ _
- X X - - - X X -
X - - X - X - X
X - - - X - - X
X - - - - - X
- X - - - - X -
- - X - - - X - -
- - - X - X - - -
- - - X - - -
******* TRY 11
_ _ _ _ _ _ _ _ _
- 3 8 - - - 7 4 -
2 - - 3 - 6 - - 1
6 - - - 4 - - - 5
1 - - - - - 3
- 2 - - - - 1 -
- - 7 - - - 8 - -
- - - 1 - 5 - - -
- - - - 6 - - - -
```

total 1 failure 0

total time : 518 mili sec, average : 518 mili sec